

新春座談会

館報発行65年

新たな視点を入れて

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟県新潟市秋葉区小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

昭和五十年の供用開始から四十年間、地域文化の活動拠点として多くの人たちに愛され親しまれてきた小須戸地区公民館が、三月で閉館となります。今後公民館活動は、四月にオープンする「小須戸まちづくりセンター」を中心にやっていくこととなります。

そんな背景の中、『こすど地区公民館報』は、昭和二十四年十一月に第一号発行以来、先月で七百三十一号を数えました。今月号では、五人の館報編集委員が集まって一月十四日に開催した座談会の概要をお知らせします。

公民館活動で地域を知る

富重

司会 公民館報に関わる思い出の中で一番印象に残っていることは。



富重委員長

富重 息子の病後の養生のため、東京から小須戸に住むことになりました。最初はまちのことを何も知らなかったのですが、地域を知るためには公民館行事に参加したことがとても役立ちました。ママさんバレーやコーラスグループに参

公民館報は

貴重な地域財産

白井

白井 退職するまで会社人間で、あまり地域に入っていなかった私を大きく変えてくれたのが公民館でした。その後縁あって公民館の管理

コミ協・学校との連携強化を

三浦

司会 新しいまちづくりセンターが公民館活動の拠点施設となりますが、どんなことを期待しますか。



三浦委員

三浦 住民が積極的に施設を利用して「生きがい」を発見できれば良いと思います。また、コミュニティ協議会や学校などと連携して、より一層活発な活動を行ってほしいですね。



白井委員

信する貴重な財産だと思っています。

若者の参加に期待する

古川

古川 この地域も同じかもしれませんが、若い人たちがサークルに入ってきています。仕事があるのは分かりませんが、少しでも関わって、その中から新しい発見をしていくのを期待しているのです。



古川委員

垣見 退職後に小須戸へ転入した高齢転入者です。今も続いて「新津南高等学校開放講座」が最初の公民館との関わりでした。その時に多くの知人と知識を得ました。公民館報の様々な情報は地域になじみが少ない転入者や高齢者にとって大切な情報源です。

富重 今日を精一杯生きたいというも思っています。一日に三回公民館を利用することもあると思いますが、それが張り合いでもあります。これからは新しい施設を今まで同様に使わせていただいて、仲間づくりができればと考えています。

垣見 公民館報は、過疎化・高齢化の中で地域を繋ぐ役割や伝統文化維持の役割を持っています。若者のニーズを取り込み、コミュニティ協議会の情報も得て、紙面の充実を望んでいます。

古書スペースの確保継続を

垣見



垣見委員

司会 最後にその他何でも。垣見 公民館一階ロビーに古書の本棚を置き、気に入った本があれば自由にお持ち帰りいただけます。この本は地域から「ワークセンター」ほえみ」が古書としていただいたものなどで、良質の本もたくさんあります。お陰様で多くの方から利用していただいております。

司会 長時間にわたり貴重なご意見・ご指摘などありがとうございました。



4月1日オープン 小須戸まちづくりセンター

施設機能 コミュニティ(まちづくりセンター)、公民館、図書館、健康福祉(健康センター、包括支援センター)、行政(出張所)
施設概要 鉄骨造3階建、増築棟:約1,500㎡、既存棟:約500㎡、貸館施設:12室
内覧会 3月8日(日) 午前10時~午後3時
どなたでも見学できますが、土足厳禁ですので内履きを持参ください。

〈出席者〉

- 編集委員長 富重 雅子(新保)
委員 垣見 壮一(松ヶ丘)
委員 白井 智雄(小須戸)
委員 古川 満(小須戸)
委員 三浦 政雄(矢代田)
司会 大宮 正和(公民館長)



# さようなら... ありがとう公民館



第30回 芸能祭の様子

昭和五十年八月一日に、現在の場所に建築され供用開始した公民館が三月十五日をもって閉館し、四十年の歴史に幕を閉じようとしています。  
公民館の学習講座や自主サークル活動など、生涯学習実践の場・地域交流の場としてその役割を担ってきました。  
地域とともに歩んできた公民館の閉館イベント「ありがとう公民館」に多数の皆様のご来館をお待ちしています。

日時 三月十四日(土)・十五日(日)  
午前10時～午後三時まで  
会場 小須戸地区公民館 三階 ホール  
主催 小須戸地区公民館  
共催 小須戸文化協会・小須戸小学校区コミュニティ協議会・山の手コミュニティ協議会

## メモリアル写真展

～小須戸公民館のあゆみ～  
小須戸公民館の歴史について当時の写真と、公民館報を第一号から展示します。  
先人たちがその時代、時代を様々な形で乗り越えてきた過程を知ることが出来ます。  
懐かしい写真の数々で当時を振り返ってみませんか？

## 「さよなら」

### 小須戸の地に想う

私は小須戸町矢代田で生まれました。父の仕事の都合で引越したので矢代田小学校には通えませんでした。中学三年の秋に戻って来て小須戸中学校を卒業しました。  
変な時期の転校生だった私を級友たちは興味を持って迎え入れ、仲間になってくれました。慣れない自転車通学の途中、キンモクセイの香りがし

ました。教室のペランダからは広いグラウンドが見渡せて、その上を赤とんぼが群れをなして飛んでいました。  
香りは記憶を呼び覚ますと



新津南高等学校 教諭 清水 泉さん

言いますが、今でも秋になってキンモクセイの香りをかぐと、あの転校生だった頃の少し不安で、でも少しだけわくわくした気持ちが蘇ります。  
あれから数十年、再び小須戸の地にご縁があり、昨春新津南高校に転動して参りました。里山に抱かれた校舎からは蒲原平野の向こうにビッグスワンが見えます。ここで出会う生徒たちと新たな思い出を紡いでいこうと思っていま

15日(日) 午前10時～午後12時30分

## さよなら音楽会

公民館最後のステージを楽しみませんか！  
多彩なジャンルの団体が出演します。

ア☆カペラヴォカリーズ  
小須戸町神楽保存会  
小須戸クラシックギタークラブ  
小須戸吹奏楽団  
小須戸フラダンスオーケッド



他出演希望団体

## 14日～15日 落書きコーナー

館内の壁など所定の場所に自由に落書きできます。  
地域のみなさんに親しまれた公民館！  
感謝をこめて記念にメッセージなど書いてみませんか？

14日(土) 午前10時～午後3時

## なつかしのレコード鑑賞会

好きなレコード(LP等)をお持ちください。  
クラシック、洋楽、歌謡曲なんでもOK！



## ほっとカフェ

協力 小須戸小学校区  
コミュニティ協議会健康福祉部会  
\*コーヒー代100円

14日(土) 午前11時～11時30分

## もちつき大会

つきたてのおもちを  
どうぞ！



## シリーズ 「今、子どもたちは」(214)

信濃川漁協の方から、十二月に鮭の卵を預かりました。五歳児のそら組が観察しながら、水替えや餌やりをしています。ふ化から十センチくらいに成長するまで世話をします。  
三月の放流の時までには、たくさんの稚魚が死んでしまうことがあります。鮭を観察することで、生きているものを大切にすることを覚えてもらいたいと思っています。死んだ稚魚をゴミ袋に入れるのではなく、そっと土に埋めてやるような優しい子どもたちに育ってほしいと願っています。  
こうして経験を大事にしてながら小須戸幼稚園では日々の保育を行っています。

### 大きくなって帰ってきてね

小須戸幼稚園  
園長 青木祐一

三月には五歳児が稚魚を「北の海で大きくなって、ふりさかして帰ってきてね」と願いを込めて、信濃川に放流します。



大きくなったね！赤い袋の中に栄養が入っているんだよ。

## 文芸欄

俳句  
あら玉の文化のかをり公民館  
何はさて公民館へ初句会  
初句会公民館の大座敷  
蘭玉や日ざし溢るる公民館  
読み初めの館報七百二十一  
新刊書手に注連明けの公民館  
集ひ来る公民館のもがり笹  
もがり笹解体近き公民館  
草萌えや公民館と別れゆく

川柳  
《荒れる》  
思い出の川は荒れ果て外来魚  
風雪にふるさと朽ちる汚染地図  
荒れた土地アワダチ草に占拠され  
君となら世の荒波も乗り切れる

短歌  
《公募》  
久方にお日様顔出し日向ぼこ  
背中温もり打ち豆を打つ  
除雪また頼まれた孫が言う  
亡きじいちゃん戻って来てと  
雪の日の露店の人等着ぶくれて  
空缶の焚き火そちこち始まる

熊倉ひろむ  
馬場綾子  
中野太浪  
渡辺信子  
間野えり  
丸山紀子  
吉澤文子  
馬場綾子  
風間幸子  
保科志枝  
能登としお  
増井都留  
会田修  
玲 泉  
阿達よしい  
高橋キヨ

## 俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)住所、氏名(ペンネーム可)電話番号を明記し2月17日(火)までに小須戸地区公民館へ。